

生徒指導にかかわる取組

(見附市)

1 本年度研修活動の目的

- (1) 学校不適応の児童生徒及び保護者への対応に苦慮する学校が増えてきている。カウンセリングの手法に基づく対応の仕方を学ぶ。
- (2) いじめ根絶にかかわる各中学校区の取組を情報交換し、各校で一層充実した活動を展開する。

2 研修活動の概要

(1) 学校不適応の児童生徒及び保護者への対応を学ぶ

- 講演 平成23年10月6日15:00～16:45 於：見附市立西中学校
「学校不適応の児童生徒・保護者への対応」～実際の事例に基づいて～
講師：見附中学校派遣学校カウンセラー 石井 成夫 様

○ 講演の概要

豊富なカウンセリング事例をもとに、次のようなお話をいただいた。

- ・ 的確な対応を支えるのは、信頼関係である。相手を心地よくする言葉がけを。
- ・ 受動的な聞き方で相手の話を促し、能動的な聞き方で相手の心を開く。
- ・ 問題の解決を焦り、学校が必要とする情報を聞き出すことを急いでしまい、信頼関係を損ねてしまうこともある。
- ・ 問題解決のために、情報連携をしっかりとることと、役割分担を明確にする。

(2) いじめ根絶にかかわる情報交換

① 中学校区における取組の工夫

- 中学生主体の「いじめ根絶スクール集会」の企画・運営
 - ・ レクリエーション、分科会テーマ設定、分科会の運営
 - ・ 児童・生徒・教師で話し合う分科会
- 小・中学生が交互に学校を訪問する「朝のあいさつ運動」の展開
- 夏休みを利用した「部活体験」

② 各校の取組の工夫

- 児童会・生徒会が運営する交流活動
 - ・ 学年縦割りグループ活動、特別支援学校との交流等
- 「月例見附市生活アンケート」を生かした情報収集・情報交換
 - ・ 気になる児童・生徒の教育相談
 - ・ 全職員の情報交換による見取りの充実

3 成果と課題

- 研修後、カウンセリング手法を各校で伝達講習したことで、信頼関係を保ちながら対応していけるケースが増えた。また、各校・中学校区のいじめ根絶の取組を情報交換したことで、他校・他中学校区の取組のよさを取り入れた活動を創出する動きが各校・中学校区で始まっている。
- 全校体制で展開するノウハウや小・中学校の連携の仕方など、もう少し聞きたいこともあった。さらに一步踏み込む研修機会を設定したい。